



—東地中海地域ニュース—

ヨルダン：国家鉄道建設計画

(5月12日付ヨルダン・タイムズ紙)

ヨルダンのメガ・プロジェクトの一つである国家鉄道建設計画についてのバタイネ運輸大臣の発言と同計画の概要は以下の通り。

1. バタイネ運輸大臣の発言

- (1) ヨルダンを経由して地中海諸国と湾岸諸国を結ぶ国家鉄道建設計画の F/S が完了した（フランスの BNB Paribas 社が実施）。年内の入札実施を予定しており、総事業費は 24 億ヨルダン・ディナール（JD:約 33.9 億米ドル）を見込む。同 F/S によると、同鉄道事業による収益は 2015 年に 229 百万 JD (323.4 百万米ドル)、2030 年には 365 百万 JD (515.5 百万米ドル) が見込まれている。同鉄道網は、物資輸送、特に原油の輸送を目的としており、旅客輸送については、現時点では実現性がない。建設・運営方式は BOT 方式（公設民営方式：政府系企業によるファイナンス及び鉄道インフラの所有、並びに民間企業による運営）を採用する。
- (2) 公的債務残高が GDP の 59%（法定上限は 60%）に達する中でのファイナンスに対する懸念に対し、政府保証なしで、政府企業が資金の借入れを担保することで対処する。公的企業は、民間企業よりも低利率でクレジット・ファシリティを得ることが可能である。

2. 鉄道建設計画の概要

- (1) 第一区間： シリア国境 — ザルカ — サウジアラビア国境  
イ. 距離：255Km  
ロ. 事業費：738 百万 JD（約 10 億 420 百万米ドル）
- (2) 第二区間： アカバ — アンマン — ザルカ — マフラック — イルビッド  
イ. 距離：399Km  
ロ. 事業費：13 億 90 百万 JD（約 19 億 630 百万米ドル）
- (3) 第三区間： イラク国境 — マフラック  
イ. 距離：言及なし  
ロ. 事業費：273 百万 JD（約 385.5 百万米ドル）

### 3. その他

第一及び第二区間については、それぞれ 2014 年及び 2015 年の完了を予定している。第三区間については、現在、イラク政府はヨルダンとの鉄道網連結に関心を示しておらず、同政府は既存鉄道網の改修とイラン・イラク間の新鉄道網建設に比重を置いている。

#### 【参考】

#### <1999 年以降の鉄道計画に関する報道>

1999-07-29            ダマスカスとアンマン間の鉄道の特急列車の運行が開始された。現在車で 12 時間かかる両都市間を 6 時間で運行し、国境でだけ停止する。

1999-08-07            ヨルダン閣議は、鉄道業務を米国の Raytheon 社などに 25 年のリースを行うことを決定。

1999-08-18            ヨルダン政府は、鉄道の民営化について、米国の Raytheon Infrastructure との間での交渉に合意した。

2002-02-06            ヨルダンを訪問したシリアのオベイド運輸相は、シリア-ヨルダン-サウジを結ぶ鉄道についての協議・調査を行うことで 3 国が合意したと述べた。

2009-04-15            ヨルダンは、2010 年から鉄道網の整備を開始すると報道された。総額 60 億ドルのプロジェクトで、ヨルダン国内のアカバとシリア、イラク、サウジ国境を結ぶ計画。2010 年に建設を開始して 2013 年には完成する予定。

2009-10-29            MEED 誌（10 月 16-22 日号）やヨルダン各紙は、ヨルダン政府が石油パイプライン建設の代案として、イラク・アカバ湾・ザルカの製油所をつなぐ鉄道網敷設を決定したとの記事を掲載した。